

「イランカラプテ」キャンペーンイメージソングが出来ました！



この度、「千の風になって」の訳詞と作曲で知られる新井満さんと「ユーカラ劇」の脚本、演出家でアイヌ民族の秋辺日出男さんから、お二人の共同制作による楽曲「イランカラプテ～君に逢えてよかった～」を寄贈していただきました。

北海道では、この曲をイランカラプテキャンペーンイメージソングとして、次のとおりPRしてまいります。

1 庁内放送

6月21日(火)～7月20日(水)の1ヶ月間、本庁及び全(総合)振興局において、お昼休みの時間に楽曲の紹介ナレーションとともにイメージソングを庁内放送で流します。

2 電話保留音

本庁舎及び胆振・日高・渡島・釧路の各振興局において、上記期間中、電話保留音としてキャンペーンの広報ナレーションとともにイメージソングを流します。

3 街頭放送

札幌市内大通地区と薄野地区にて、上記期間中8:30～19:00(薄野地区は10:00～17:00)の間に1日10回程度、街頭放送を行ないます。

4 その他施設における利用

道立アイヌ総合センター、北海道博物館において、上記期間中、閉館時に館内放送を実施します。

あきば
秋辺デボ

1960年 阿寒湖温泉にアイヌとして生まれる。56歳。
ユーカラ劇の脚本演出家、民芸店の経営者、ロックバンドの歌手、アイヌ舞踏家、高校「アイヌ学」の臨時教員、阿寒アイヌ工芸共同組合専務理事など様々なジャンルで活躍中。
『千の風になって』アイヌ語バージョンを発表し、ハリウッド映画『許されざる者』には俳優として出演。
アイヌコタン劇場の総合プロデューサーでもある。

1946年 新潟市生まれ。69歳。
作家、作詞作曲家、長野冬期オリンピック開閉会式のイメージ監督など多方面で活躍中。
作家としては『尋ね人の時間』で芥川賞受賞。作者不詳の英語詩を翻訳した写真詩集と、それに曲を付け自ら歌唱したCD『千の風になって』は現在もロングセラーを続けている。同曲でレコード大賞作曲賞を授賞。『希望の木』、『自由訳・方丈記』、『この町で』など著書、CD多数。

あらい 満
新井満

「イランカラプテ」キャンペーンとは

アイヌの人々は、独自の言語、信仰や文化の独自性を持つ先住民族です。

近年では、我が国が持つ文化の多様性の一面としてアイヌ文化が注目されており、2020年に国が「民族共生象徴空間」を白老町に整備することが決定するなど、アイヌ文化に対する関心が一段と高まっています。

そのような中、アイヌ文化等の普及啓発をより一層推進するため、平成25年度から平成27年度の3年間を重点期間として、民間企業や行政機関、学術機関等の連携により、アイヌ語のあいさつ「イランカラプテ」(「こんにちは」の意)を、「北海道のおもてなし」のキーワードとして普及させるキャンペーンを展開し、今年度(平成28年度)も引き続き実施しています。

※キャンペーンホームページ <http://www.irankarapte.com/index.html>